

重要取組シート

教育委員会事務局
総務部 学校改革推進室

取組項目		新たな学校のあり方	
現状・課題		<p>○少子化の進行に伴う人口減少や社会のあり方が劇的に変わる Society5.0 時代の到来、新型コロナウイルスの感染拡大など、急激に変化する予測困難な時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成が必要である。</p> <p>○小規模校と大規模校の混在や、全国平均以下の教科学力、いじめ・不登校児童生徒数の増加、教員の長時間勤務など、本市教育の抱える課題に対して、各学校が特性に応じて柔軟に自主的・自律的に対応することができる新たな学校のあり方の検討が必要である。</p>	
取組の内容		<p>○「これからの堺の学び」の実現に向けて、個別最適な学び（個に応じた指導・学習の充実）と、協働的な学び（子ども同士あるいは多様な他者と協働しながら資質・能力の育成）を実現する。</p> <p>○「授業改善（学級集団と学習集団を区別した新たな授業形態と進化した一斉授業）」、「カリキュラムの改善（義務教育9年間の系統性や連続性を意識した内容）」、それらを支えるための「学校群を中心としたマネジメント強化（予算や人事などの学校権限を拡充し教職員のマンパワーを集積）」に一体的に取り組み、自主性・自律性に富んだ「自立した学校」のための制度構築を行う。</p> <p>○制度構築に向けて「新たな学校のあり方」の具体的な取組等を取りまとめた取組指針（素案）を作成する。</p> <p>○令和5年度以降のモデル校での検証に向け検証手法を検討する。</p>	
スケジュール	前期 (~7月)	<input type="checkbox"/> (4月~3月) 制度構築に向けた課題整理 <input type="checkbox"/> (5月~6月) 「新たな学校のあり方」取組指針（骨子）作成 <input type="checkbox"/> (6月~7月) 小中学校長へ取組指針（骨子）説明、モデル校の募集 <input type="checkbox"/> (7月) モデル校の決定、モデル校での検証項目等整理	
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> (8月) 第1回総合教育会議で議論（予定） <input type="checkbox"/> (8月~3月) モデル校での検証内容等の検討 <input type="checkbox"/> (11月) 第2回総合教育会議で議論（予定）	
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> (2月) 第3回総合教育会議で議論（予定） <input type="checkbox"/> (3月) モデル校での検証内容の決定、取組指針（素案）作成	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> モデル校での検証実施 <input type="checkbox"/> 「新たな学校のあり方」制度構築に向けた課題検討 <input type="checkbox"/> モデル校検証をふまえ「新たな学校のあり方」取組指針の策定	
進捗の状況	前期 (~7月)	<input type="checkbox"/> (4月~) 制度構築に向けた課題整理 <input type="checkbox"/> (5月~) 「新たな学校のあり方」取組指針（骨子）作成 <input type="checkbox"/> (5月~6月) 小中学校長へ「新たな学校のあり方」の考え方説明 <input type="checkbox"/> (6月) モデル校の募集	
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> (9月) モデル校の決定 <input type="checkbox"/> (10月~) (10月モデル校での検証項目等整理、検証内容等の検討) <input type="checkbox"/> (10月) 第1回総合教育会議で議論	

	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> (2月) 第2回総合教育会議で議論 <input type="checkbox"/> (3月) モデル校での検証内容の決定、取組指針(素案)作成	
	該当する 施策	3- (2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 3- (3) 多様性を尊重した教育の推進 3- (4) 安心して学べる教育環境の充実	
2025 堺市基本計画	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値(全国を100とした場合) [現状値 小6 100.5 中3 95.8 (2019年度)]	目標値(2025年度) 小6 103.0 中3 100.0
		「自分にはよいところがある(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童生徒の割合 [現状値: 小6 83.1%、中3 73.2% (2019年度)]	小6 90.0% 中3 90.0%
		「人が困っているときは、進んで助けている(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童生徒の割合 [現状値: 小6 89.3%、中3 85.4% (2019年度)]	小6 94.0% 中3 90.0%
		「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童生徒の割合 [現状値: 小6 88.4%、中2 78.8% (2019年度)]	小6 90.0% 中2 85.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値(全国を100とした場合) [現状値 小6 100.5 中3 95.8 (2019年度)]	目標値(2023年度) 小6 102.0 中3 98.0